

精子機能検査のお知らせ

検査結果を受けて生活習慣を改善することで
精子の質を高められる可能性があります

精子機能検査は2種類の検査を合わせたものです

○ 精子DNA損傷検査

近年、精子DNAの断片化（DFI）と未熟精子の割合（HDS）が受精率や胚盤胞到達率、流産率に影響すると報告されており、一般精液検査のみでは精子機能を十分に評価できていない可能性が指摘されています。

精子DNAの損傷をDFIとHDSによって明確に数値化することで、運動率や形態観察だけでは分からなかった精子の質を知ることができます。

○ 抗酸化力検査

精子DNAを断片化させる主な原因は、活性酸素による酸化ストレスであり、精子の運動性にも影響を与えていると報告があります。

抗酸化力（TAC）は、活性酸素を無力化する力の強さを表し、男性不妊における検査項目のひとつとして有効だと考えられています。

また、TACは生活習慣に影響されるので、日々の生活を見直すことで精子の質を向上させる可能性があります。

検査をご希望される方へ

料金は税込み ¥22,000-（保険適応外）です

精子DNA損傷検査と抗酸化力検査を合わせた料金となっております。
単独の検査はお受けできません。

検査には①精液量0.5ml以上 ②運動精子濃度40万/ml以上の精液が必要です

上記①②の基準を満たさない場合は検査できません。

検体を提出いただける時間帯は精液検査と同じです

平日は16:00まで、土日祝は12:30までです。

3週間程で結果が出ますので、ご都合の良い時にご来院ください

診察時に結果をお返しします。

